

## 1. 本文原稿の作成について

- (1) 用紙は A4 判とし、横書き、左右 2 段組、片段全角 20 字×40 行程度とする。余白（マージン）は上 30 mm、下 30 mm、左 20 mm、右 20 mm とし、左右段組の段間は 10 mm とする。
- (2) 本文中の構成は、章、節立ての順に表し、それ以降の項目については (1)、(2)、または (a)、(b)、等の順に表記する。表記例は、章は 1. ○○○○、節は 1. 1○○○○とする。
- (3) 専門用語、単位、記号などについては次のようにする。
  - (a) 専門用語は原則として、文部科学省制定の学術用語集に従う。
  - (b) 量記号・単位記号は SI 単位に従う。
- (4) 執筆者名及び所属は 11 ポイント MS 明朝とする。  
連名者がいる場合は、氏名の右肩に上付き文字で所属の数字を記載し、それぞれセンタリング（中央揃え）する。名古屋工業大学技術職員は担当を記載する。（例：○○センター担当）
- (5) 文字サイズとフォントについては次のようにする。
  - (a) 題目は 16 ポイント、章は 12 ポイント、節は 11 ポイントとし、MS ゴシック左寄せとする。
  - (b) それ以降の項目および本文は 11 ポイント MS 明朝とする。

## 2. 図（写真）、表、式について

- (1) 式、図（写真を含む）および表の番号は通し番号とし、第 1 式は (1)、第 1 図は図 1、第 1 表は表 1 のように記す。章ごとに通し番号とする場合は、(1.1)、図 1.1、表 1.1 と記す。
- (2) 図表タイトル・番号は 11 ポイント MS 明朝とし、図ではその下部中央に、表ではその上部中央に記す。

## 3. 参考文献の表記について

- (1) 参考文献は該当個所に [ ] で括った数字を通し番号で付し、その内容を原稿末尾に次のように表記する。
  - (a) 雑誌の場合は、文献番号 著者名、記事のタイトル、雑誌名、巻数、号数、ページ数（西暦発行年）。
  - (b) 単行本の場合は、文献番号 著者名、書名、出版社名、ページ数（西暦発行年）。

## 4. その他

- (1) 図（写真も含む）・表などを他の出版物より引用する場合は、4 の参考文献の表記に従い必ず出典を明記する。
- (2) 共著者がいる場合には、原稿の内容について、必ず共著者の承諾を得ること（原稿内容の全ての責任は共著者を含む著者にある）。
- (3) 上記の設定を原則とするが、不明な点については、技術報告・発表会チーム ([tech-report@adm.nitech.ac.jp](mailto:tech-report@adm.nitech.ac.jp)) に問い合わせる。